様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	②首里城公園の管理体制の強化と首里杜地区の歴史まちづくりの推進
			施策の小項目名	○歴史文化遺産の計画的な整備や歴史・文化を体験できる行催事等の推進
主な取組	首里城公園の観光資源としての活用		対応する成果指標	首里城公園来場者数
施策の方向	・県営公園内の中城御殿跡や円覚寺跡等の歴史文化遺産の計画的な整備や、歴史・文化を体験できる行催事等を推進し、首里城公園の魅力の向上を図るとともに、御茶屋御殿等の地域に点在する文化資源の段階的な整備について、事業主体や保存に係る調査等の課題解決に向けて、那覇市、国と連携して実現可能な方策や観光資源としての利活用の検討に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。	国,県,那覇市,指定管理者,民間事業者等	首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載		
		イベント等後援の実施		
		実施	実施	実施

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部観光振興課　【　098-866-2764　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	-			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
―	―			

予算事業名	-		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
―	―		

令和6年度活動内容

首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促した。

令和7年度活動計画

首里城公園に関するイベント等の後援及び観光情報サイト等での掲載を通して、首里城公園の観光資源としての活用を促す。

活動指標名	イベント等後援の実施		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年11月２日～11月４日まで開催された「令和６年度 首里城復興祭」について後援を行った。
	実施	実施	実施	実施	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

首里城公園に関するイベントについて１件以上の後援を行い、目標を達成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
引き続き首里城に関するイベント等の後援を行い、首里城公園の観光資源としての活用を促す。	「沖縄県の観光振興を図る行催事の共催等に関する取扱要領」の基準を用い、沖縄の観光の振興に効果がある、かつ適当と認められるイベントに対し後援を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	令和８年度首里城正殿完成を見据え、首里城公園の観光資源としての活用が活発になっている。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	引き続き首里城に関するイベント等の後援を行うとともに、令和８年度首里城正殿完成に向けて首里城公園の観光資源としての活用を促す。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	③首里城に関係する文化財等の保護・復元・収集
			施策の小項目名	○被災した文化財等の修復・復元や琉球王朝時代の文化財等の所在調査
主な取組	琉球王国時代の文化財等の調査研究、史料収集		対応する成果指標	首里城関係文化財のＷＥＢ公開の累計アクセス件数
施策の方向	・関係機関と連携の下、被災した文化財の修復・復元や国内外に所在する琉球王朝時代の文化財等の所在調査に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の貴重な文化財は、譲渡や売買 、また沖縄戦の戦利品として不法に持ち去られる等、国外に流出したものが多くある。さまざまな理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査 ・研究し、その成果を報告会等を通じて発信し、琉球文化の価値を体系的に高めることを目指す。	県	県内外の文化財の調査研究及び王国文化の発信の取組		
		年間を通した情報収集の成果発表報告会等の開催回数（累計）		
		―	2回	2回（4回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,711	2,906

予算事業名	在外琉球王国文化財調査研究事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	803

令和6年度活動内容

さまざまな理由で流出した琉球王国関連文化財についてアメリカで調査する。この調査結果をまとめ、県民向けの調査報告会を実施した。

令和7年度活動計画

令和５～6年度の調査報告書を作成する。令和８年度に調査を予定している博物館・美術館の事前調査と情報収集をする。

活動指標名	年間を通した情報収集の成果発表報告会等の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		11/24～11/29に渡米し、ハワイ沖縄センター、ハワイ大学図書館、ホノルル美術館にて琉球関係文化財約100点を調査し、関係資料を収集した。成果発表報告会を3/9に開催し、展示用パネルを作成した。
	―	2回	1.5回（3.5回）	２回（４回）	75.0%	概ね順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
候補地の博物館等の都合により受入可能なハワイの機関に調査地を変更したが、成果発表では報告会を１回開催して来場者から好評を得るとともに、新聞紙面で大きく取り上げられた。また次年度5月の国際博物館の日で展示するパネルを作成した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○調査先について情報収集しながら、事前の連絡や調整を丁寧に行い、事業について理解を促すとともに、十分な調査ができる体制を構築する。 ○円安が進む可能性も考慮して、できるだけ早めに渡航の準備や、航空券手配等を行い、経費削減に努める。	○現地からの情報収集を受けて計画の変更を余儀なくされたが、次点候補地との連絡調整がスムーズに行えたので、計画以上の資料調査を実施することができた。 ○航空券やコーディネーターの手配は計画通り進められたが、現地の宿泊費の高騰により旅費の協議が必要となった。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	調査候補地のアメリカの博物館施設からの回答に時間がかかり、調査受け入れに消極的な施設もあるので、琉球王国文化財の現状や本事業の主旨を丁寧に説明し次年度の調査に向け事前準備を強化する必要がある。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	円安の影響で、旅費や現地コーディネーターの費用などが高騰する可能性がある。候補地の博物館等の作業進捗の状況に合わせる必要がある。
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和６年度は調査時期が遅れたため、その成果発表として報告会を行ったが、展示及び研究紀要による成果報告は次年度に持ち越した。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
② 連携の強化・改善	円滑に事業を進めるため、調査先及び調査希望資料の情報収集を徹底し、先方との連絡調整を丁寧に行うとともに、令和８年度に計画通り調査できるよう調査体制を整える。
⑥ 変化に対応した取組の改善	円安や社会情勢の変化も考慮して、現地の宿泊先等も情報収集に努め、渡航準備や航空券手配等を早めに行って経費削減につなげる。
⑦ 取組の時期・対象の改善	令和６年度の調査成果報告として、令和７年５月の国際博物館展に合わせてパネル展示するとともに、令和５～６年度分をまとめた詳細な報告書を作成する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	④首里城に関連する伝統技術の活用と継承
			施策の小項目名	○最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の復元		対応する成果指標	工芸技術研修（漆芸・木工）累計修了者数
施策の方向	・琉球王朝時代から伝承された伝統技術について、最新デジタル技術等を活用した伝統技術の継承に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元を通して世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		復元製作に関する取組の実施		
		復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催	試作品制作 15件

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,173	76,340

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	91,803

令和6年度活動内容

９分野の監修者会議を実施し、３５点の模造復元製作（科学分析、材料調達、試作等）を行い、ＳＮＳ等を用いながら得られた知見を発信した。

令和7年度活動計画

模造復元業務では科学分析、材料調達、試作、本製作等を行う。発信業務ではＳＮＳ等を活用し試作等で得られた新知見を発信する。

活動指標名	復元製作に関する取組の実施		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		戦災等によって失われた琉球王国文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の９分野の監修者会議を開催し、３５点の模造復元製作（科学分析、材料調達、試作等）と報告会等を実施した。
	18回	復元製作に向けた調査研究等の監修者委員会の開催（18回）	7件	試作品制作 15件	46.7%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和５年度の実施設計で８分野３５点の資料を選定したが、予算上の都合により、事業内容を整理・縮小する必要が生じたため、施策品制作件数が目標15件に対し実績7件の結果となり、進捗状況は大幅遅れとなった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○科学分析や試作等を行いながら、原材料の検討や確保、入手が難しい場合は代替材の使用等を監修委員の監修を受けながら検討する必要がある。 ○模造復元製作が始まるため、ＳＮＳ等を用いた継続的な情報発信する必要がある。また、その運用方法について検討・工夫する必要がある。	○科学分析を行い復元の根拠となる情報を整理し、監修委員の監修のもと材料調達、試作した。 ○SNSを立ち上げ、事業の愛称とロゴを作成し、令和６年度中に行った科学分析等の情報発信した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	模造復元に関して、昨今の社会情勢の変化による原材料の枯渇や高騰に留意した原材料の確保が必要である。
⑦ その他（改善余地の検証等）	模造復元の製作工程等を広く紹介するための発信コンテンツ作りを工夫する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	令和６年度に実施した科学分析をもとに調達した材料と、それらを用いて行った試作を通して技法を解明する。この製作技法が原資料と違いがないか検証したうえで、今後の本製作用の材料を調達する必要がある。
⑤ 情報発信等の強化・改善	復元過程を広く発信するため、材料調達や試作、製作技法等を検証する。科学分析等の様子や成果を、伝わりやすい内容にコンテンツ化していく必要がある。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	琉球歴史文化への理解を深め普遍的価値の再発見		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテイメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球歴史文化への理解を深め普遍的価値の再発見	県,市町村,民間団体	歴史・文化関連事業及び催物の開催		
		歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		
		100件	110件（210件）	120件（330件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	17,752	82,425

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	その他	72,318

令和6年度活動内容

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。

令和7年度活動計画

琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための広報活動と、県民が沖縄の歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施する。

活動指標名	歴史・文化関連事業及び催物件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		市町村や関連団体とともに歴史と文化への理解を深めるための関連事業を実施した。
	105件	52件（157件）	67件（224件）	120件（330件）	55.8%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否を年度初めの早いうちに確認しても予定が未定と回答されることがあり、関連事業及び団体の把握に苦慮した。市町村や関連団体とともに関連事業を実施することにより、県民の沖縄の歴史と文化への理解を深められた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○事業の調査時期を早めることにより実施件数を増やし、関連団体と連携するとともに、情報発信を強化していく。	調査時期を早めたことによって、事前の情報の共有やスムーズな連携につながったが、調査時期時点で「未定」という回答や、無回答の団体もあった。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査および琉球歴史文化の日事業としての連携の可否の調査をする時点では未定の団体や、無回答の団体があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	市町村や関連団体の歴史文化関連事業の調査実施回数を増やすとともに、以前回答があったが、今年度回答がない団体に対して確認を行う。また、他団体の実施状況を共有する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテイメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演（シンポジウム等）を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	6,050	6,050

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,075

令和6年度活動内容

地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催した。

令和7年度活動計画

地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催する。

活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		地域の伝統行事や伝統芸能など、文化の継承をテーマとする座談会を開催した。
	2回	1回（３回）	1回（4回）	３回（９回）	33.3%	大幅遅れ	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を開催した。年々予算額が減額されており、座談会の回数を減らしているがyoutubeを活用したweb配信を行うなど、内容の充実を図った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する。また、予算額の確保に努める。 ○　引き続き、シンポジウム・座談会のＷＥＢ配信を行い、当日会場で見ることができない方にも閲覧できるようにするとともに、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化する。	○　各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催した。また、令和５年度と同等の予算額を維持した。 ○　シンポジウム・座談会のＷＥＢ配信を行い、当日会場で見ることができない方にも閲覧できるようにするとともに、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	次世代への継承が大きな課題であり、効果的な手段が何か、結論が出ない状況である。取組を続けることが、消滅に歯止めをかけているのが現状である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	継承の問題に取組む各団体の事例を聞き取り、事例紹介として広く情報発信をする。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施 策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○琉球文化を体感できる機会や新たな琉球芸能創作機会の創出等
主な取組	日本遺産普及啓発事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・首里城及びその周辺エリアにおいて、国立劇場おきなわ等の関係団体と連携し、組踊、空手や県内各地の伝統芸能の鑑賞など琉球文化を体感できる機会の創出や、芸術性・エンターテイメント性の高い新たな琉球芸能の創作機会の創出等に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信を行う。	県,市町村,関係団体等	県、市町村及び関係団体が実施する日本遺産関連イベント等の発信		
		Webサイトでの情報発信件数（累計）		
		12件	12件（24件）	12件（36件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球文化日本遺産事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	負担	1,400	1,400

予算事業名	琉球文化日本遺産事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	負担	1,400

令和6年度活動内容

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。

令和7年度活動計画

琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促す。

活動指標名	Webサイトでの情報発信件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促した。
	11件	10件（21件）	11件（32件）	12件（36件）	91.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

Webサイトでの情報発信件数について、目標12件に対し実績11件の情報発信を実施。Webサイト等を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信し、観光資源としての活用を促すことにより、地域の活性化及び観光振興につながった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。	琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信するため、構成団体に関するイベント等の情報発信を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球文化日本遺産の更なる認知度向上のため、新たな周知方法を検討する必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	WEBサイトのほか、SNSなど様々な媒体を活用し、琉球文化日本遺産ストーリーと構成文化財の魅力を県内外に広く発信していく。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
伝統芸能の県外公演の開催。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,056	5,640

令和6年度活動内容

京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努めた。

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和7年度活動計画

神奈川県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1公演	3公演（４公演）	1公演（５公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	京都府における公演や、ワークショップ（２回）を開催した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演を目標通りの１公演実施できたので、進捗状況は順調となった。公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	公演前のワークショップや伝統芸能の公演を通して、県外にて沖縄の伝統芸能の認知度向上及び魅力の発信に努めた。また、現地の劇団と共同で舞台を開催することで、集客につなげた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県外公演の周知は委託先が担ってくれたが、それだけでは周知する層に偏りが生じてしまう可能性がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	県外公演の周知について、委託先だけではなく、 県からも関係団体や公共団体に周知をすることで認知度の向上に努める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,000	8,000

予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,300

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
令和６年度は、県外公演を２公演実施した。	令和７年度は、県外公演を1公演予定している。

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は予定通り事業を実施し京都市及び金沢市で１公演を開催した。
	1公演	1公演（２公演）	2公演（４公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

（2）これまでの改善案の反映状況

	反映状況

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	出演者、スタッフアンケートを行ったところ、委託料の予算が少額であるため、出演者や公演内容が限られてしまうとの意見があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
① 執行体制の改善	公演内容や出演者について、スタッフ等と事前に綿密な調整を行う等により、限られた予算の範囲内でも内容の充実化を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・伝統芸能の県外公演・海外公演に対する支援等や琉球の美術工芸品等を保有する国内外の美術館での公開、最新技術を活用し制作した琉球文化のデジタルコンテンツの世界へ向けた発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		
		―	1公演	1公演（2公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	—			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
—	—	14,000		

令和6年度活動内容

令和6年度は他事業に統合した。

予算事業名	—			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
—	—	0		

令和7年度活動計画

令和7年度は他事業で実施する。

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	委託	14,000	43,573	

令和6年度活動内容

ロサンゼルスにおいて沖縄の文化芸能に係るイベントを開催予定であったが、現地の山火事の影響により中止となった。

予算事業名	伝統文化活性化事業			
R7年度				
主な財源	実施方法	当初予算額		
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318		

令和7年度活動計画

国内外における沖縄の伝統文化の認知度向上及び理解を促進する取組を行い、文化芸術関係者の活動機会を確保する。

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	0公演	2公演	0公演（2公演）	１公演（２公演）	0.0%	未着手	令和６年度は、現地の方々が参加できるコンテスト形式の舞台とし、交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催予定であったが、自然災害の影響により中止となった。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度はロサンゼルスでの開催を予定していたが、現地の山火事の影響により中止となったため、未着手となっているが、令和５年度に２公演実施していることから、累計公演数は目標値を達成している。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○　開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○　メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	○交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催することで相乗効果を狙った。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自然災害の影響により中止となった。次年度、仕切り直しとしたが、次年度開催に向けた関係者調整など対応を検討する余地があった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	現地の事情により中止となった場合でも、次年度以降の公演が継続できるよう、関係者と連携をとっていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立し、旅行商品造成プログラムモデルを構築する。	県	旅行商品造成プログラムモデルの構築		
		プログラムモデル構築件数（累計）		
		2件	2件（4件）	2件（6件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	25,340	17,100

予算事業名	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	15,444

令和6年度活動内容

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築した。

令和7年度活動計画

沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立するため、文化コンテンツを含む旅行商品造成プログラムモデルを構築する。

活動指標名	プログラムモデル構築件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		旅行商品造成のほか、説明会や、プロモーション活動を実施した。
	2件	2件（４件）	2件（6件）	２件（６件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

沖縄特有の文化資源を活用した旅行商品造成プログラムモデルを２件(八重瀬町各所をめぐる芸能文化体験ツアー日帰りプラン、１泊２日プラン)構築した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
関係者の意見を取り入れながら、販売期間を加味した旅行商品造成に取り組む。	有識者によるワーキンググループにて助言やアドバイスを伺い、販売期間を加味しながら旅行商品造成に取り組んだ。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	旅行商品造成プログラムモデルの周知、販売に苦慮しているため販売強化の取組を実施する必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	ワーキンググループに周知や販売に関する知識を持ったアドバイザーを招き、販売に関する取り組みを強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(5)-ア	首里城の復興	施　策	⑤首里城を中心とした琉球文化のルネサンス
			施策の小項目名	○文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出等
主な取組	文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発		対応する成果指標	伝統工芸・芸能を体験した個人旅行者の割合
施策の方向	・異分野・異業種間の連携する仕組みを構築し、多様性・独自性を持つ本県の文化資源を活用した新たなビジネスモデルの創出やおきなわ工芸の杜を活用した商品開発、マーケティング、ブランド力向上等を推進し、沖縄の伝統工芸の魅力や価値向上に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化資源を有効活用したビジネスモデルの創出や商品開発を支援する。	県,民間団体	文化資源を活用した取組		
		文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数（累計）		
		6件	10件（16件）	10件（26件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	補助	39,920	37,852

予算事業名	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	補助	34,574

令和6年度活動内容

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、８件の取り組みに支援（補助）を行った。

令和7年度活動計画

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し、支援（補助）を行う。

活動指標名	文化資源を活用したビジネスモデル・商品件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を公募し支援（補助）を行った。
	6件	10件（16件）	8件（24件）	10件（26件）	80.0%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組を支援することで、文化資源を有効活用したビジネスモデルを創出した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○引き続き、講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図る。	講演会や事業者報告会の他、新聞やSNS広告等により認知度の向上を図った結果、次年度（令和７年度）の公募開始時期には前年度よりも問い合わせが増加し、着実に認知度が向上していることがうかがえた。

様式１（主な取組）

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球の歴史・文化資源をテーマとした新たなコンテンツがビジネスとして定着するために、周知広報による認知度向上を図る必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	事業の中で周知広報を実施しているが、他事業と連携し、県外への周知等取組を強化する。